

藤沢市市民活動プラザむつあい
データ集

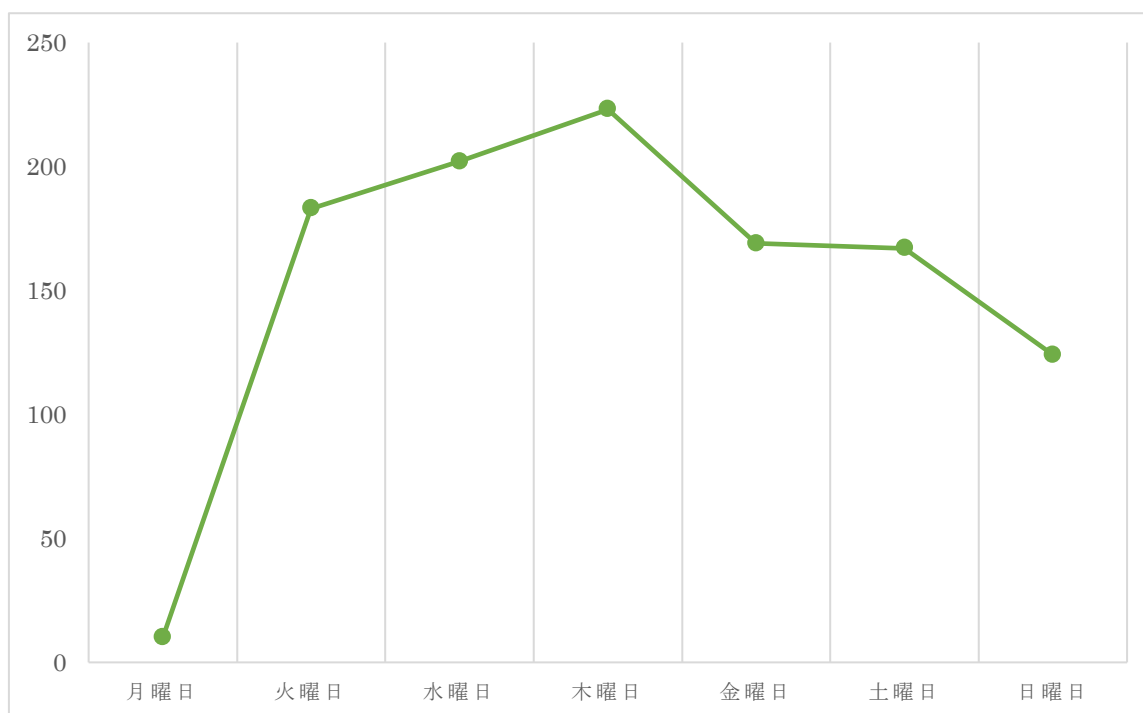
藤沢市市民活動プラザむつあい
(管理運営：(認 N) 藤沢市民活動推進機構)

1. 施設利用者資料

○月別利用件数・利用人数

	利用件数					利用人数					開館 日数
	交流 スペース	相談 スペース	作業 スペース	市民セ ンター 会議室	合計	交流 スペース	相談 スペース	作業 スペース	市民セ ンター 会議室	合計	
6月	81	12	17	2	112	247	16	24	6	293	26
7月	49	3	7	3	62	180	3	7	26	216	26
8月	65	2	18	1	86	150	4	30	8	192	26
9月	77	3	20	2	102	253	3	43	35	334	26
10月	101	2	19	3	125	271	2	33	52	358	26
11月	84	1	24	2	111	245	1	29	50	325	26
12月	78	3	22	2	105	226	5	25	26	282	24
1月	97	2	19	0	118	250	3	35	0	288	24
2月	76	3	24	4	107	194	3	33	33	263	24
3月	92	10	47	1	150	314	15	84	30	443	27
合計	800	41	217	20	1078	2330	55	343	266	2994	255

○曜日別利用件数



月：10件、火：183件、水：202件、木：223件、金：169件、土：167件、日：124件

○曜日別利用人数



月：28名、火：412名、水：530名、木：730名、金：378名、土：594名、日：323名

2. ロッカー

ロッカー貸出団体一覧

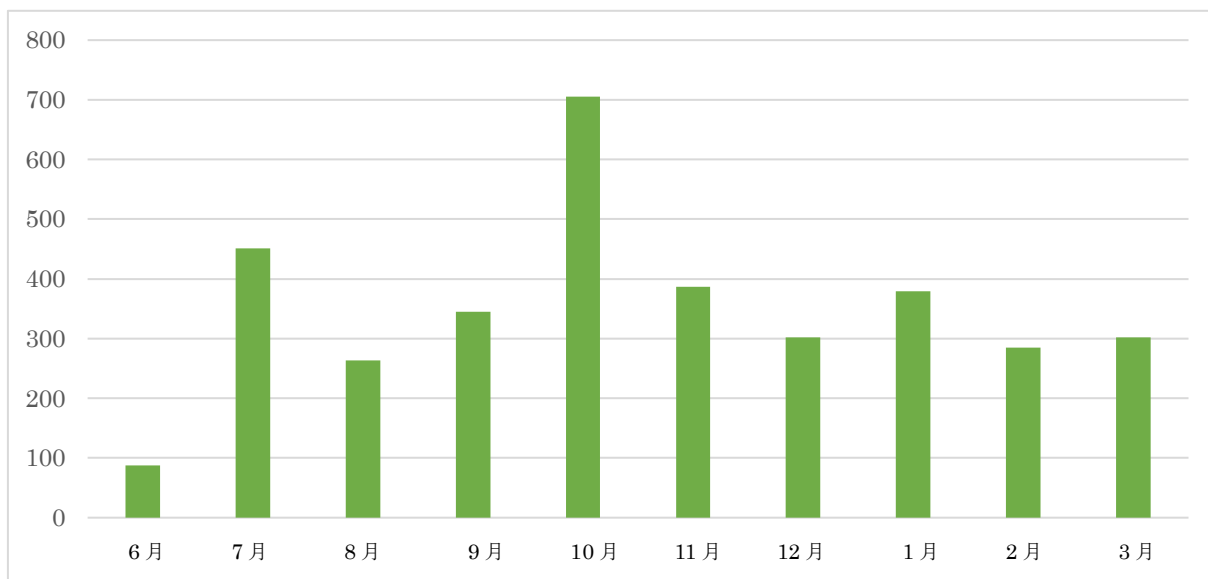
20016 湘南日本中国友好協会	20220 藤沢市肢体障害者協会
20488 FAKTA JAPAN	20914 ワークショップラボ湘南
20915 ニコニコクラブ	以上5団体

3. HP等情報関連

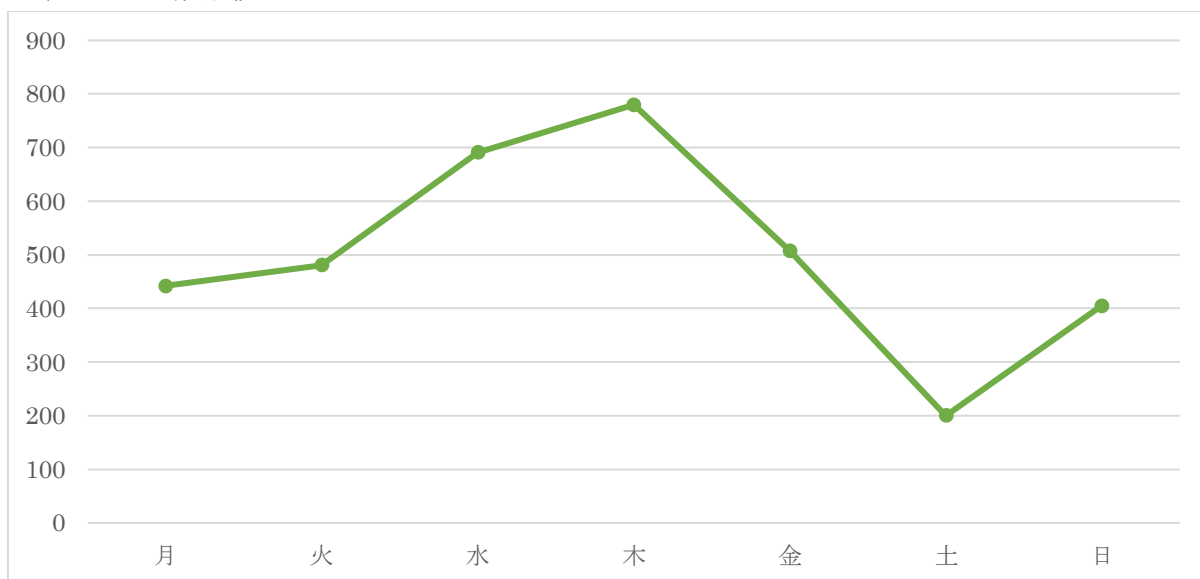
年間 3,507pv 更新回数：41回（記事19回・つぶやき22回）

2016年6月	88pv	2016年11月	387pv
2016年7月	451pv	2016年12月	302pv
2016年8月	263pv	2017年1月	379pv
2016年9月	345pv	2017年2月	285pv
2016年10月	3705pv	2017年3月	302pv

○月別 PV 数推移



○曜日別 PV 数推移



○検索キーワード

キーワード	訪問	キーワード	訪問
市民活動プラザ	43	映画ふゆのめい	1
市民活動プラザ六会	12	花を植える活動藤沢	1
http://plaza6i.f-npon.jp	8	市民活動プラザ六あい	1
プラザ六会	7	志塾藤沢	1
六会市民センタープラザむつあい	5	湘南市民メディアネットワーク	1

市民活動プラザむつあい 地図	4	湘南市民メディアネットワーク冬のメイ上映会	1
市民活動推進センター 六会	4	川のきれい町事例	1
市民活動ぶらざ六会	3	短編映画 冬のメイ	1
藤沢市民活動プラザ ゆめまる地域塾	3	地域 きれい 活動 事例	1
六会 市民活動推進センター	3	地域 きれいに 活動 事例	1
冬のメイ 上映	2	地域の人々はどのような活動をしているの？	1
グリーンクラブ 六会	2	冬のめい	1
市民活動プラザ むつあい	2	冬のメイ 映画	1
志塾ふじさわ むつあい	2	藤沢 市民プラザ	1
地域のつながり 事例・紹介	2	藤沢市市民活動プラザ	1
冬のメイ出演者	2	藤沢市市民活動推進連絡会	1
藤沢市 市民活動プラザ 住所	2	藤沢市民活動プラザ 電話番号	1
藤沢市 志塾ふじさわ	2	藤沢六合公民館祭り	1
藤沢市市民活動推進センター 志塾	2	防災 市民活動 事例	1
藤沢市民活動プラザ	2	六会 グリーンクラブ	1
比べて 知った わかった ボランティア先のちがい 藤沢市	2	六会 市民センター 10月15日	1
六会 市民活動 プラザ	2	六会活動プラザ	1
むつあい志塾	1	六会公民館祭り	1
映画 冬のメイ	1	六会市民プラザ	1

○アクセスページ（上位 30 位まで）

NO.	ページ タイトル	訪問
1	藤沢市民活動プラザむつあい	1690
2	「志塾ふじさわ」を始めます！ 藤沢市民活動プラザむつあい	276
3	『冬のメイ』完成記念上映会を開催しました 藤沢市民活動プラザむつあい	160
4	プラザむつあいのご案内 藤沢市市民活動プラザむつあい	134
5	アクセス 藤沢市民活動プラザむつあい	93
6	プラザのご利用方法 藤沢市市民活動プラザむつあい	80
7	アクセス 藤沢市市民活動プラザむつあい	72

8	【事例紹介】地域から市民活動団体が生まれるまで 藤沢市民活動プラザむつあい	60
9	『冬のメイ』完成記念上映会を開催しました 藤沢市市民活動プラザむつあい	56
10	「地域参加のきっかけづくり」を開催しました 藤沢市市民活動プラザむつあい	54
11	2/10(金)「活躍の場をつくろう」in 大庭、開催！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	53
12	Home page	52
13	生活支援サービス担い手養成研修を実施しました 藤沢市市民活動プラザむつあい	51
14	「はなまる」の活動に参加しました！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	45
15	「志塾ふじさわ」第1期生が卒業しました！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	42
16	「志塾ふじさわ 2016」スタート 藤沢市民活動プラザむつあい	40
17	プラザむつあいのご案内 藤沢市民活動プラザむつあい	35
18	7/10(日)、休館のお知らせ 藤沢市民活動プラザむつあい	34
19	「会社人を卒業した社会人の皆さんへ」を開催しました！ 藤沢市民活動プラザむつあい	33
20	「会社人を卒業した社会人の皆さんへ」を開催しました！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	33
21	「市民活動プラザむつあい」がオープンしました！ 藤沢市民活動プラザむつあい	31
22	【事例紹介】地域から市民活動団体が生まれるまで 藤沢市市民活動プラザむつあい	28
23	お問い合わせ 藤沢市市民活動プラザむつあい	28
24	臨時休館・開館のお知らせ 藤沢市民活動プラザむつあい	26
25	お問い合わせ 藤沢市民活動プラザむつあい	23
26	「志塾ふじさわ 2016」スタート 藤沢市市民活動プラザむつあい	23
27	2/26 外国籍に関わる子どもたちの現状を知って！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	22
28	11/30「比べてみて知った・わかった！ボランティア先のちがい」開催！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	15
29	11/2「地域参加のきっかけ」開催！ 藤沢市民活動プラザむつあい	14
30	11/2「地域参加のきっかけ」開催！ 藤沢市市民活動プラザむつあい	11

4. 事業関連

・市民活動に関する学習の機会及び市民活動を行うものの総合交流の機会の提供に関する業務

① 市民活動に関する学習会の機会「プラザ de カフェ」

○会社人を卒業した地域社会人の新人の皆さん、集まれ！！

会場：市民活動プラザむつあい

日時：2016年9月7日（水） 10:00～12:00 参加者：4名

日時：2016年9月21日（水） 10:00～12:00 参加者：8名

日時：2016年10月4日（火） 10:00～12:00 参加者：8名

日時：2016年10月26日（水） 10:00～12:00 参加者：9名

日時：2016年11月8日（火） 10:00～12:45 参加者：7名

日時：2016年11月25日（水） 10:00～12:00 参加者：8名

※その後、参加者は「バッタの会」としてグループを設立、活動を継続している。

初回報告

プラザ de カフェ「会社人を卒業した社会人の皆さんへ」を開催しました。

“オジサンたちも居場所が欲しい！”退職後間もない方々の正直なお声です。

昼間ひとりで散歩しているだけでも、何でこんな時間にいるの？という視線を感じて、なんとなく居心地がわるい。本屋も少ないし・・・でも、地域で何か取り組んでいきたい！

そんな“アツい思い”を持った方々が、思いの丈を存分に話したり、地域にこういうものがあるといいよね！、といったアイデアを出す場となりました。

3人寄れば文殊の知恵といいますが、今回集まったお三方を中心に、次回のお集まりが決まり、今後、定期的開催される見込みとなりました。

ご関心のある方は、ぜひお越しになってみてはいかがでしょうか？



○活動の場をつくろう

会場：湘南大庭公民館 第2 談話室

日時：2017年2月10日（金）10:00～11:30

参加者：1名

講師：市民活動推進センターIT サポートチーム

山本 享氏

丸山谷戸援農クラブ 畠中 進氏



② 市民活動団体の交流会の開催「プラザ de 学ぶ」

○会社人を卒業してからの地域参加のきっかけ

日時：2016年11月2日（水）13:30～15:30

参加者：8名

講師：六会地区郷土づくり推進会議議長 川崎 芳治氏

報告

11月2日（水）、プラザ de 学ぶ「地域参加のきっかけ」を開催しました。六会地区郷土づくり推進会議議長の川崎芳治さんを講師に、地域にはどのような仕組みがあり、どんな形で参加するといいいのかを学ぶ講座です。

転勤族だった川崎さんが定年退職後に六会に来て、くらしまちづくり会議に入った経緯と、そこからどのようなことをして楽しく日々を送っているかをお話いただきました。

六会で、もちろん知り合いのいなかった川崎さんは防災訓練に参加した際に知っている人が誰もいないことを寂しく感じたのをきっかけに、徐々に自治会や地域の活動に参加されていったそうです。

今回川崎さんに講師をお願いしたのは、まさにこれから地域の活動に参加したいと思う方にとって、定年後に六会に来られた川崎さんの話は非常に参考になると考えたからです。また自分のペースで楽しく取り組んでいる様子は、やはり地域に参加する上でのハードルを下げてもらえると思いました。実際、お話を聞いて「そんなものなのか」と踏み出すのが楽になった方もいらっしゃると思います。

一方で、「男としては、自分がこれまで仕事で培ってきたスキルを活かさなければ」といった意見もいただきました。こういった別の視点、そして率直な意見をいただけるのは大事なことです。次はこんな方のお手伝いができるような企画を考えたいと思います。



○外国籍に関わる子どもたちの現状を知って！

日時：2017年2月26日(日) 13:30～15:30

参加者：6名

講師：元小学校教諭 今津 文美氏

報告

2月26日(日)「外国籍の子どもたちの現状を知って」を開催しました。現在、藤沢市には5,000人以上の外国籍の方が暮らしており、その中の子どもたちが置かれている状況や、どのような支援が必要なのかを学ぶのが今回の目的です。湘南台小学校等で国際教室の担当をされてきた今津さんにお話を聞きました。



今津さんのこれまでの経験から、国際教室の仕組みや、外国籍の子どもたちが抱える学習面あるいは人間関係での問題を学びました。このような子どもたちは、外では日本語を、家庭の中では両親の母語を使う生活を送っているケースが多く、どちらも年齢相応の能力がついていない「ダブル・リミテッド」という状態に陥りやすいそうです。

それが具体的な問題となってくるのが、日常言語と学習言語の違いが大きくなったとき。普段の日常生活で使う言葉は比較的多くの子どもたちが理解できていますが、学校の勉強等で使う言葉は慣れないものが多く、また急に難しくなります。そのため、それまで優秀だった子があるときからついていけなくなるケースも多いとのことでした。

たしかに、最初は「立ちましよう」と言われていたのが、いつからか「起立」と言われるようになりました。日本人の多くが意識せずに対応してきたと思いますが、このような変化がたくさん出てくると、日本語を使いこなさきれていない子どもたちは対応できなくなってしまうのかもしれない。

さまざまなお話や参加者の質問から、外国籍の子どもたちが抱える多くの問題が見えてきました。これを解決していくためには専門的な支援体制だけでなく、「算数の計算や漢字の練習をちょっと見てあげるといった程度のことも強く必要とされている」ように思います。

プラザとしてもこの問題は引き続き取り組んでいきます。そして、地域に必要なことをできる範囲で一緒に取り組んでいただける方を常に探しています。いろいろな携わり方があると思いますので、プラザまで足をお運びください。

③ 北部の地域性を踏まえた学習・交流機会の開催

○湘南台音楽祭「ラストサマーコンサート」

日時：2016年9月3日(水) 13:30～16:00

参加者：76名

会場：湘南台公民館 ホール

○外国人の日本語スピーチ大会「いろいろな国の人の話を聞こうよ」

日時：2017年3月4日(土) 13:30～15:30

参加者：200名

会場：湘南台公民館 体育室

アンケート結果（一部抜粋・原文ママ）

- ・湘南台在住外国人（アジアの方）スピーチ、皆さますばらしかったです。「日本」についてのスピーチは教えられることがいっぱいでした。インドネシアの若者の演奏「上を向いて歩こう」良かったです。
- ・外国の異文化、外国人の日本へ寄せる期待感を実感できました。外国人との交流の大切さを学びました。ありがとう。
- ・楽しかった。
- ・いろいろな国の方の話が聞けて楽しかったです。
- ・滞り期間が短いのに驚くほどの上達を見せた各国の皆さんに拍手！楽器演奏とファッションショーもとても楽しめました。日本語の勉強だけでなく日本を理解しよう、人と交流しようという姿勢が素晴らしいです。
- ・湘南台在住の外国人の皆さまのスピーチに感動いたしました。まず、日本語のきれいな発音にびっくりいたしました。各自国の紹介も興味いっぱいでした。日本人の生活習慣も正確にとらえていらして、勉強になりました。発表の皆さまのすばらしさに、本日、参加できて良かったです。
- ・もっと、みんなで、仲良くなりたかったです。
- ・皆さん日本語だけでなく、日本の事をいろいろ勉強されていて感心しました。アンクルンの音色を今回初めて聞きました。とても素敵でした。ありがとうございました。



④ 複合施設の特性を踏まえた学習・交流会の開催

○AED講習会

日時：2016年10月25日(火) 9:30～12:30

参加者：22名

会場：六会市民センター会議室

講師：藤沢市北消防

報告

8月の六会市民センター内会議の中で「ボランティアで関わってくれる人たちの安全確保について、各施設での対応をどのようにしているのか」との質問から、ノロウイルスやインフルエンザなどの対応を始め、不特定の方々が来館されるそれぞれの施設に関わるスタッフ・ボランティアが学習会をする講座が開催で来たこと事は複合施設間の安心をつくる事となった。

このように地域の拠点として役割を果たしていく場にいることが責任者、スタッフが真剣に考える良い機会となった。

その後の市民センター内会議にも小さな事柄から全体で考える良いモデルとなった。

○地域交流“できることから”講座 「比べてみて 知った わかった ボランティア先のちがひ」

日時：2016年11月30日(水) 13:30～15:30

参加者：20名

会場：六会市民センター第2談話室

協力：六会公民館

六会地区いきいきサポートセンター

地域ボランティアセンター（地区社会福祉協議会）

社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会

（六会地区コミュニティソーシャルワーカー）

・市民活動に関する人材の育成及び交流に関する業務

① 北部地域の拠点施設としての人材育成

○志塾ふじさわ

会場：六会市民センター会議室・地域団体室および、六会地区周辺

講師：堀 千鶴氏（NPO法人くらし・環境・再生ネットワーク理事長）

川崎芳治氏（六会地区郷土づくり推進会議議長）

井上賢誠氏（元六会地区郷土づくり推進会議委員）

加藤葉子氏（ワークショップラボ湘南代表）

手塚明美氏（認定NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会副理事長・事務局長）

日時：2016年7月27日（水） 19:00～21:00 参加者：7名

日時：2016年9月17日（土） 10:00～15:00 参加者：6名

日時：2016年10月19日（水） 19:00～21:00 参加者：6名

日時：2016年11月19日（土） 13:30～16:30 参加者：6名

内容

第1回：入塾式・オリエンテーション「“志”をカタチにするために」

・“志”をカタチにするために、今の思いと、今後、どのようなことを思い描いているのか、洗い出していきます。

・これからともに学びあう仲間と知り合う機会とします。

【フィールドワーク】：「まちを歩いて、まちを知る」

・志を実現するためには、まずは、まちを知ることが大切です。

・地域の歴史や活動の事例を、地域の方よりお話しいただきます。

※協力： 六会地区郷土づくり推進会議

第2回：「思いを伝えるための準備」

・“志”を実現するために本当に行いたい内容を整理していきます。その上で、各受講者の得意なこと、新たな視点などを活かして、学びあいを行います。

第3回：卒塾式・記念講演「はじめの一步宣言」

・卒塾する受講生の皆さんより「はじめの一步宣言」として、今後実現していきたい志を発表します。

・卒塾式

各回の報告

第1回 入塾式・オリエンテーション 「“志”をカタチにするために」



「『私』が当事者であることがベースとなり、どういう六会にしていきたいか、を考えてきたんです。」 — 堀 千鶴さん (NPO 法人くらし・環境・再生ネットワーク理事長)

いかにして“ジブンゴト”として捉えられるか？

そして、いかに多くの方々に、その方々の得意なこと・できることをお願いして、関わる人を増やしていけるか？

今から17年前。まだ介護保険事業が始まる前の話。

講師の堀さんたち、くらし・環境・再生ネットワークでは、100回以上地域の方々に介護

予防の必要性を訴え、説明に回ったとのこと。

そこで出会った方々を逃さず、「チラシをまいてください」、「1万円を貸してください」、「スタッフになってください」と様々な方法で関わる機会をつくっていらっしゃいました。

また、お金がない中で、事業に関してお金でいただくところと、六会を良くしていきたいから、お金はいらないんだよ、というところを分けて取り組んでいること。

それが私たちの考える「市民事業」です、ともおっしゃっていました。

「私がわたしらしく六会で暮らしていかれるには」という思いをカタチにするための方法を教えていただきました。

メンバーの強い「思い」、仲間との「役割分担」、「覚悟」、伝える「機会」をつくること。この4要素がうまく合わさり、地域の中で身近に感じる当事者主体の取組みが、NPO 法人くらし・環境・再生ネットワークで日々、行われていることを学ぶ機会となりました。

◆ふりかえりシート集計結果：

平均点 84 点/中央値 84 点（100 点満点中、有効回答数 7、回収率 87.5%）

フィールドワーク 「まちを歩いて、まちを知る」

約 2 km のコースを六会地区郷土づくり推進会議の川崎さんと前委員の井上さんをガイドとして二手に分かれ、2 時間かけてプラザから六会日大前駅周辺を歩きました。

テーマは、「まちづくり」と「福祉」。「この坂は急だし、車がよく通る割には、歩道の幅が狭く、ベビーカーや車いすが通るのは危ないよね」、「野菜の無人販売が身近にあるのはいいね！」など。まちを歩くことで、じっくりとまちの状況を見る機会となり、地図を片手に気づきのポイントを付せん紙に書き、写真におさめていきました。



また、第 1 回に話を聞いた、NPO 法人くらし・環境・再生ネットワークが運営する「ディスプレイまわり」や「リサイクルまわり」を見学させていただき、活動現場に伺うことで、より実感を持って、団体の思いや目指すことを理解する機会となりました。



出発前の集合写真

◆ふりかえりシート集計結果：

平均点 82 点/中央値 80 点（有効回答数 6、回収率 75%）

第 2 回 「思いを伝えるための準備」

「団体設立の思いが伝わる言葉へ変えるのに、1 年ほどかかりました。」

一 加藤 葉子さん

（ワークショップラボ湘南 代表）

それだけ、人に伝わるための文章を考えるのは、気を遣う必要があるということ。「学ぶ語らうコミュニケーションの場ってどんなところだろう?」、
「それって、飲み会で、人と親しくなることに似ているよね?」
このやりとりがきっかけで、自分が当初考えて文章とは異なる、人に思いが伝わる呼びかけ文へと変貌を遂げたとのこと。

「くらしの知恵やコツをご近所通しで学びあう、まちの学びの場をつくる」まなびクラスを現在進めている、加藤さんからは、「思いの伝わりにくさ」と、他者に言葉にしてもらうことの重要性、キーワードが見つかったことで共感を得ることができた、という流れを、ワークショップラボ湘南立上げ時の経験をお話いただきました。

作文用紙(400 字)に自身の"思い"を作文し、みなの前で読み上げる。聞く側は分かりにくいこと、耳に残ったことなどのキーワードを抜き出していく。他者が捉えた自分のキーワードをもとに、作文を要約する形でキーワードを組み立てていくというグループワークを実施しました。

◆ふりかえりシート集計結果：

平均点 86.1 点/中央値 88 点（有効回答数 5、回収率 83.3%）

ワークシートA	名前 ()
まだおぼえていますか?	はい
いいえ	
どうも	
いいえ	
おぼえていますか?	
おぼえていますか?	
おぼえていますか?	

【思い】をまとめるためのワークシート



第3回卒塾式・応援講演 「はじめの一步宣言」

「走り出しは、よその力を借りて進む」

一 手塚 明美さん（認定 NPO 法人藤沢市市民活動推進連絡会 副理事長・事務局長）

“地域で生きる”というタイトルで始まった応援講演。講師の手塚さんからは、コミュニティで自分らしくあるためのヒントとして、「地域の安心安全は『顔見知り』から始まる」ことまた、「地域を知ることによる愛着感の増加」などと共に、地域とのつながりや、「学ぶ→調べる→気づく→動く」のサイクルをもとに「学習活動から地域還元活動へ」つなげていくことが必要だというお話をいただきました。



また、はじめの一步宣言では、6人それぞれが、それぞれの体験や学びあいの中で得たことを踏まえ、思い思いの方法で発表する。その発表を聞いていただいた、講師やゲストの方々からは、「こういうところで知り合うのが第一歩。自分なりに立ち止まって生き方などを考えられたのは、良いきっかけだったのではないのでしょうか。また、ひとりではなく、誰かと共に行うのが大切」とのコメントをいただきました。

◆ゲストからのメッセージ

井出様（藤沢市生涯学習総務課）：

和気藹々としていて、4回の講座で受講者同士の距離が縮まった様子が分かりました。また、地域で何かしていきたい、という思いをひしひしと感じました。

川崎様（六会地区郷土づくり推進会議議長）：

卒塾おめでとうございます。まずは、こういう場で知り合うことが第一歩だったのではないかと思います。一緒にまち歩きをしていただき、様々な見方をいただきました。また、立ち止まって、自分なりに生き方などを考えるのに良いきっかけとなったのではないのでしょうか。ひとりではなく、誰かと共に取り組んでいってください。皆様のご活躍を期待しています。

◆室長からのメッセージ

堀（市民活動プラザむつあい室長）：

卒塾おめでとうございます。実家だと思ってたまに帰ってきてくださいね。2期生・3期生など次に取り組もうとする人のことも考えて、テレビ番組の「しくじり先生」ならぬ、皆さん自身が、「〇〇先生」として、自分たちが失敗したこと・上手くいったことなどをどんどん伝えていっていただければと思います。また、これから皆さんと一緒に「はじめの一步」を踏み出していきましょう。

◆ふりかえりシート集計結果：

平均点 86.1 点/中央値 88.5 点（有効回答数 6、回収率 100%）

はじめの一步宣言

①志塾ふじさわで学んだこと、気づいたことは何か？

②学んだことや気づいたことをもとに明日から取り組んでいこうと考えていることは、どのようなことか？

③自分だからこそできることは何か？

プレゼン方法は、自由としていたため、紙芝居形式の方もいれば、パワーポイントを使用した方、ポスターを作成した方など、それぞれが趣向を凝らした方法で行いました。

許 珮紋（通称：スセン）さん（個人ボランティア）

【人との出会いを大切にして、チャレンジしていきます！】

志塾に参加して、もっともっと様々な活動を知りたいと思いました。今回、学んだことは、一人がたくさん集まれば成果が出ることです。



今後は、ダメもとでいいからチャレンジすること、また、イベントサポーターとして活動していくこと、さらに、これからオリンピックも控えていることもあり、通訳を行い、日本の文化を広めていきたいと思います。

中村 英樹さん（高齢者施設職員）

【”本当に困っている人”を助ける活動をしていきます！】

地域の中で”本当に困っている人”を助ける仕事がしたい、今行っている介護の経験を活かし、地域住民同士が支え合える社会をつくりていきたいとの思いから、志塾に応募しました。 障害者・高齢者がいきいき暮らせるまちづくりを行いたい、そう思ったきっかけは、障害を持つ兄のこと。誰かの手助けをしたい、と思うようになりました。地域包括ケアシステムなど法制の改正に伴い、介護や福祉を取り巻く環境が大きく変化しています。



新しい高齢者福祉をまちに発信していき、お隣さん同士での助け合いが促進されるように取り組んでいきたいと考えています。

今回の志塾で学んだことは、目指しているものや、収益を上げること、地域課題に応えるための事業などを分けて考えて社会貢献を行っていくこと希望しています。

「思いを考える」から「思いを伝える」へ徐々に展開して、高齢者が活躍できる環境を整え、障害者の働く場を築いていく、そこに自分が携わっていききたいと思います。

堀 信幸さん（六会グリーンクラブ、六会地区生活環境協議会）

【花のあふれる六会を目指していきます！】

もともと草花とふれあうのが好きなんです。なので、7mあった実家の木の剪定を行ったり、また、近所で草がボーボーのうちの草取りなどを
行っていました。

好きな事で地域に役に立つ、自分ができる事はやってみよう！、との思いから、花や植木の手入れや川の清掃などの活動を行っています。

現在、地域の役員を引き受けていますが、そこで疑問に思うことや、様々な活動を通じて、「役立つ」こととは、「周りから評価されるもの」なのだと気づきました。



また、こういった地域の活動は、今のままでは新たな人に参加してもらうのは難しいのではないかと考えていく事を、関わっているみんなで、今後関わって欲しい人が、「わかる言葉で」、「わかるように」話して理解を拓げていくことが必要なのではないかと感じています。

やはり、「分からない事を分からないと言っていい環境」をいかにつくることができるのか、が、今後の課題として取り組んでいきたいと思います。

北野 範之さん（社会福祉法人藤沢市社会福祉協議会）

【六会の魅力や気になる！に耳を傾けていきます！】



コミュニティソーシャルワーカー（以下、CSW）として、六会に関わらせていただいています。CSWとは、SOSを挙げられない方への「個別支援」を行う役割を担っています。例えば、ゴミ屋敷問題や8050問題（80歳の親と50歳の引きこもりの子ども）など、地域の方からの“気になる！”に耳を傾け、問題の解決に向けて地域の方と共に取り組んでいます。

知ることで優しさが生まれると信じています。なので、まちを歩く中で、六会の魅力を多く感じました。例えば、無人野菜販売所や銭湯があること。そこを居場所やお茶飲み場としたり、銭湯交流「背中流し隊」などをつくるのも良いかもしれません。さらに、大学もあるので、「おかみさん制度」を設け、ひとり暮らし高齢者の方が、朝一緒に学生や子育て世代とご飯を共にする時間をつくるなど「知り合いであふれる」まちになることを願って日々活動していきたいと思っています。

滝沢 俊子さん（「患者や家族が望む精神科医療、福祉を実現する市民ボランティアの会（仮称）」）

【映画をツールに伝えていきます！】

精神の病に関する当事者の会やボランティア団体、家族会に参加してきました。

また、医療機関では、薬物治療がベースで、じっくり話を聞いてもらえない現状があるだけでなく、カウンセリングは有料なので、行きづらいのです。

そういった現状を変えていくために、まずは、先進事例のあるイタリアの映画をツールに啓発していきたいと思っています。



高橋 和憲さん（鶴沼郷土づくり推進会議、合同会社ピルグリン）

【場の在り方を考えていきます！】

居場所+起業したい人の経営支援を行う場であり、「コワーキングスペース」をつくり、NPOや起業者向けに人・モノ・金と「場所」の提供を行いたいと考えています。

また、現在、鶴沼元気塾（運営：鶴沼地区郷土づくり推進会議）のメンバーとして、子どもの居場所づくりにも関わっています。

今後の提案として、志塾のパート2として、ケーススタディ（成功と失敗談）を行ったり、精神論だけでなく、技術論を学ぶ場を設けていかれたらと考えています。



講座に関するアンケート結果

有効回答数 6/6

1. 来年度、本講座を開催する際の「開催時期・頻度・曜日」などについて、
下記①～④それぞれの項目で、あてはまるものに○をつけてください。

① 開催時期〔今回：7/27（水）、9/17（土）、10/19（水）、11/19（土）〕

今回と同じ時期がよい	その他
5	1（8月ごろ）

②開催頻度（今回：全4回）

多い	ちょうど良い	少ない
0	3	3（希望回数 5回1、6回2、8回1）

③開催曜日（今回：水曜夜間・土曜日昼間）、④時間帯

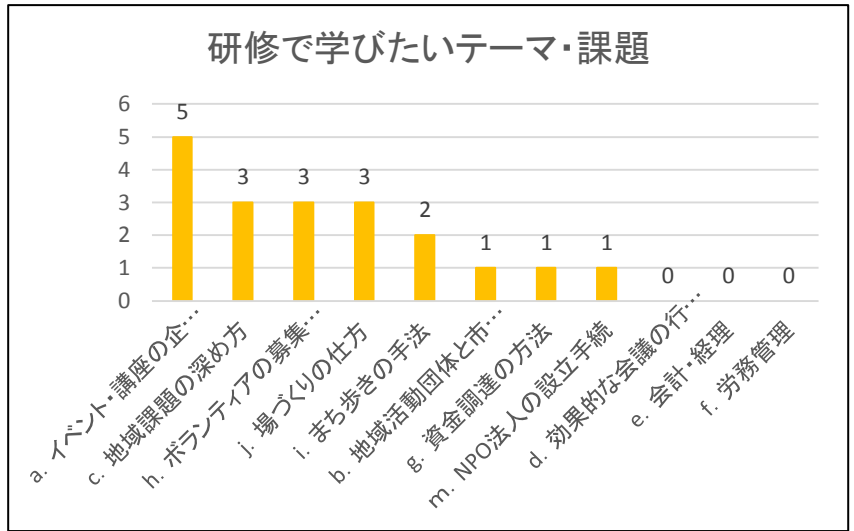
平日夜間	平日昼間	土曜午前	土曜昼間
3	1	1	1

2. 今後、研修で特にとりあげてほしいテーマ・課題があればお教えてください。

希望するものを以下のa～kの中から選び○を付けてください。（複数選択可）

- a. イベント・講座の企画の仕方(5)
- b. 地域活動団体と市民活動団体との連携の深め方(1)
- c. 地域課題の深め方(3)
- d. 効果的な会議の行い方

- e. 会計・経理
- f. 労務管理
- g. 資金調達の方法(1)
- m. NPO 法人の設立手続(1)
- h. ボランティアの募集とサポートの仕方(3)
- i. まち歩きの手法(2)
- j. 場づくりの仕方(3)
- k. その他



3. 来年度の講座を企画するにあたり、企画準備会のメンバーになっていただけますか？
以下のいずれかに○をつけてください。

はい	いいえ	考え中
5	1	0